

18-3ポリマーフロンティア21 高分子材料の性能を司る界面の役割

主催: 高分子学会 行事委員会

日時: 2018年9月3日(月) 10:10~17:20

場所: 東工大蔵前会館 ロイヤルブルーホール

1. ポリマーブラシを用いた界面構造制御と特性解析

(九州大学) 高原 淳

2. TOF-SIMSを利用した有機/無機複合多層フィルムの深さ方向分析

(富士フイルム) 野田 浩之

3. 有機薄膜太陽電池のドナー/アクセプター界面構造制御

(理化学研究所) 但馬 敬介

4. 界面を有効利用した燃料電材料の設計・開発と燃料電池技術の未来

(東京工業大学) 山口 猛央

5. 粘着剤(接着剤)の表面・界面と製品設計

(リンテック) 杉崎 俊夫

6. 高分子表面へのナノインク配線技術

(C-INK) 金原 正幸

講演の合間に「参加者・講師ふれあいの場(名刺交換会)」を予定

本企画では、高分子材料の性能を司る界面の役割を理解し、さらに新しい材料開発への展開を目指すことを目的に、高分子材料界面に関わる研究の最先端でご活躍されている研究者の方々にご紹介いただきます。奮ってご参加下さい。

定員 100名

参加費 ①企業21,600円 ②大学・官公庁10,800円 ③学生1,080円

④名誉・終身・フェロー・ゴールド会員・シニア会員3,240円

※当日に会場でのご参加も可(定員になり次第締め切らせていただきます)

詳細・お申込み: <https://www.spsj.or.jp/entry/annaidetail.asp?kaisaino=1342>



【行事委員会】